

兵庫と東北

しながわさんねん



作・絵 天野勢津子

心ばかり

この絵本は、兵庫県で震災にあったおばちゃんたちから、東北で被災されたおばちゃん・おばあちゃんへのメッセージです。兵庫の女たちの思い、どうか届きますように。

一九九五年一月十七日
うちの日常は
なくなってる



あたりまえの毎日が
どんだけ幸せなことなんか
はじめて知ったわ

なんもかもなくして
もう生きて
いかれへんと思った

でもな



あれから
長い年月がたつねん
街もきれいになつて
うちも元気になつてん



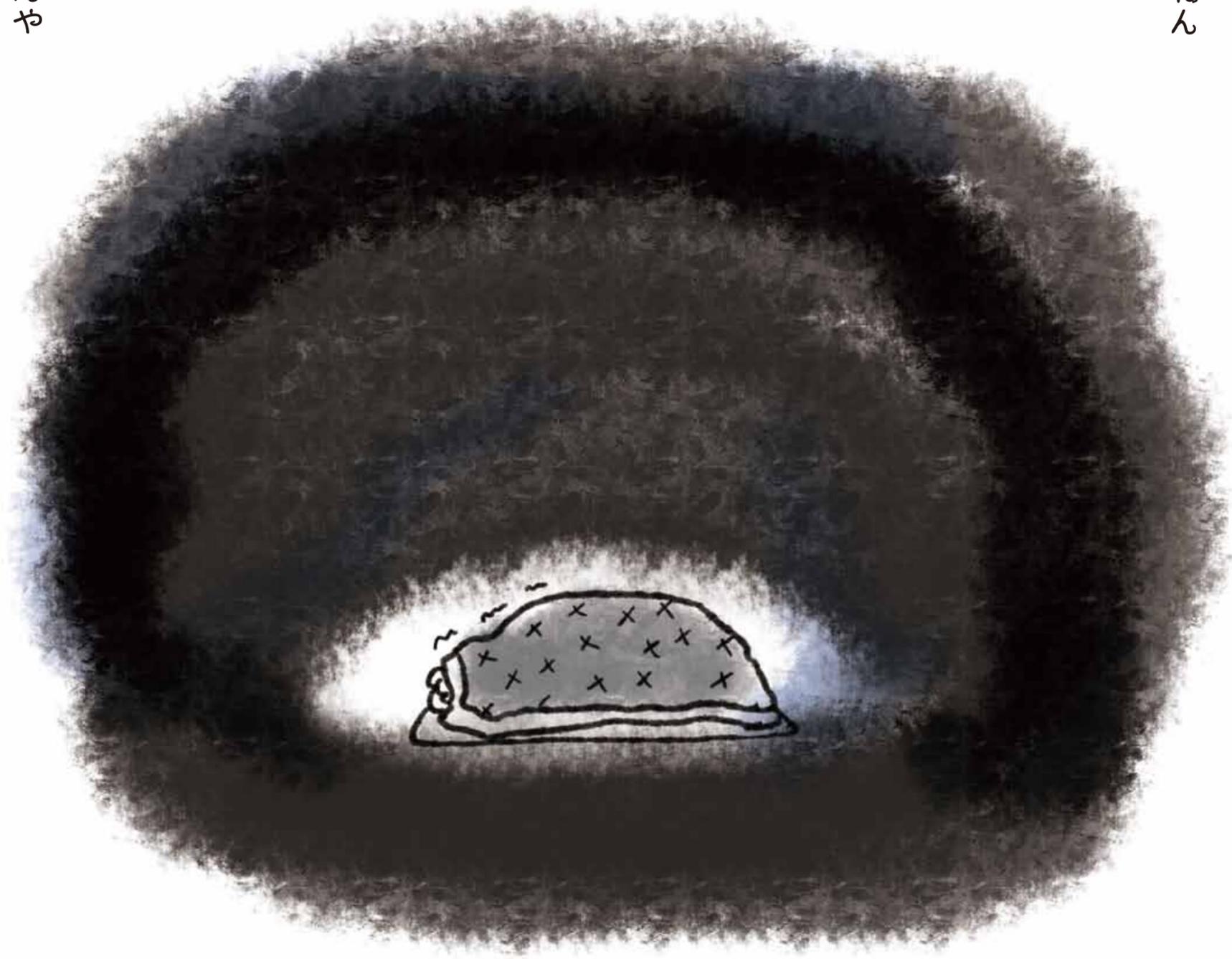
笑えるようにも
なつてん



そやけど

いまでも たまに
胸の底がねじれるくらい
苦しくなるときがあんねん
そんなときは
こっそり泣くねん

何年たつても
忘れられへん
痛みつてあるんや
そやからな



東北の人の
つらさ しんどさ
他人事とは
思われへんねん

東北のこと

うちら忘れへん

いつまでたっても

忘れへん

遠い場所でも

つながってんねん

うまニおほニん



うちらがおること

忘れんとつてな

兵庫と東北 つながってんねん

2015年3月発行

作・絵 天野勢津子

発行 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン
〒650-0044

兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-1-3 クリスタルタワー 7 階
TEL 078-360-8550 (代表) FAX 078-360-8558



発行所:大阪市北区梅田3丁目4番5号 〒530-8251
毎日新聞大阪本社

WEEKLY No. 925

ほっと兵庫

「ほっと兵庫」編集室
神戸支局内
〒650-0023
神戸市中央区栄町通4の3の5
☎ 078-371-7760 FAX 371-7922
Email: kobe-hothyogo@mainichi.co.jp

東北 絵本でエール

「イーブン」発行

東北のこと うち忘れへんー。東日本大震災の被災地の女性たちへのメッセージを込めた絵本「兵庫と東北 つながってんねん」を、県立男女共同参画センター・イーブン(神戸市中央区)が発行した。4年たった今もお東北、関東で行方不明者2500人以上、約22万5000人が全国各地で避難生活を続けている。【木田智佳子】



あれから 長い年月がたつねん 街もきれいになって うちも元気になってん(絵本から)

「阪神」心のつぶやき



絵本を手にする角本さん。手前のポップの絵も角本さん作。男女共同参画センターイーブンで

イーブンは、男女が対等にいきいきと暮らせる社会を目指し、女性の就労や子育てなどを支援する機関。大震災以降は防災や復興がテーマのフォーラムなどの開催にも取り組む。13年春には、巡回展「兵庫と東北つながる」を企画。同展は、被災地の女性たちが布小物作りを通して暮らしを立て直す姿やボランティアは、3月までイーブンで情報アドバイザーを務めたイラストレーターの角本勢津子(ペンネーム・天野勢津子)さん。被災地訪問を続ける県内の女性グループと共に、宮城、岩手などの中高年女性が手作りする小物を集め、「つながる展」をスタートさせた。絵本は、昨秋の青森県での同展開催の際に、角本さんが作り一枚一枚のり付けして出展。「欲しい」という声が多く寄せられたことから、イーブンで発行が決まり、今春郵送も受け付ける。

アとの交流を紹介、今春までに県内外で20回開催された。絵本(本文10ページ)には、阪神大震災を経験した兵庫の「おぼちゃん」の震災の記憶と20年たった今心のつぶやきが描かれている。「なんもかもなくてもう生きていかれへん」と思った「でもな」。「笑えるようになって」もあって「でもな」笑えるようになって「でもな」笑えるようになって

2000部を印刷。既に多くがボランティア団体や支援者らの手で被災地に届けられている。角本さんは「20年たってもつらい思いを抱えた人がたくさんいる。だからこそ兵庫は東北のことを忘れないと伝えたくて。悲しい時にふと手に取って心を癒してもらえたらうれしい」と話す。希望者には1冊、イーブン(078・360・8550)窓口で無料配付。送料本人負担で郵送も受け付ける。

「生きていかれへんと思った」「でもな」笑えるようになってん

被災地の女性にエール

東日本大震災の被災地の女性たちにエールを送るとともに、支援の取り組みを次世代に伝えようと、兵庫県立男女共同参画センター・イーブンが絵本「兵庫と東北 つながってんねん」を発行した。



東日本大震災の被災地の女性たちにエールを送る「兵庫と東北 つながってんねん」

「遠い場所でもつながってんねん」

阪神大震災に遭った「おばちゃん」が主人公。「1995年1月17日、うちの日常はなくなってる」と関西弁で当時の経緯を語り、「何年たっても忘れられへん痛みもつたあるんや」と今の気持ちを打ち明ける。

絵本はその一環として制作。A4判、10ページで30

兵庫県立共同参画センター 絵本発行、支援次代へ

ちら忘れへん」「遠い場所でもつながってんねん」「うちらがおること忘れんとつてな」と、東北の「おばちゃん」たちへのメッセージを盛り込んだ。

0部発行し、無料配布している。郵送希望の場合は郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、切手205円分を同封の上、〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1

作者は同センター職員でイラストレーターの大野勢津子さん。センターは東日本大震災

3-7階、兵庫県立男女共同参画センターへ。連絡先は078(360)8550。